

職業能力開発論文コンクールの概要

1 目的・沿革等

職業能力開発論文コンクール(以下「論文コンクール」という。)は、職業能力開発に携わっている方々などが、職業能力開発の現場や実践する場面において、日々、取り組まれていること、実践されていることを通じて明らかになったことなどを、「職業能力開発の実践」等のテーマとして「論文」をご執筆していただくとともに、「コンクール」として優秀な論文を選定し、その成果をたたえ、広く関係者等へ周知や広報、普及することによって、人材開発関係者などの意識をより一層啓発するとともに、人材開発の推進や向上に資することを目的に昭和48年度より実施しており、第2回(昭和49年度)以降は「職業訓練教材コンクール」とそれぞれ隔年で実施している。

「論文コンクール」としては、今回、令和3年度で31回目を迎える。

2 主催

厚生労働省

独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構

中央職業能力開発協会

3 表彰の種類

○ 厚生労働大臣賞(特選)

厚生労働大臣賞(入選)

○ 特別賞

・独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構 理事長賞

・中央職業能力開発協会 会長賞

4 論文の応募状況及び表彰授賞状況

(1) 応募論文数

令和3年度 49論文

(2) 授賞論文数(令和3年度)

厚生労働大臣賞(特選)

1論文

厚生労働大臣賞(入選)

1論文

特別賞((独)高齢・障害・求職者雇用支援機構 理事長賞)

3論文

特別賞(中央職業能力開発協会 会長賞)

1論文